

令和3年度第2回合同幹事会議事録

総務委員会
2021年9月25日

日時：令和3年9月25日（土） 午後1時00分～3時30分

会場：Zoomによる会議 会費：なし

出席者：濱名誉会長（高8回）佐藤会長（高10回）巢山名誉顧問（高11回）奥原参与（高11回）三澤幹事長（高18回）青柳アルペン会会長（高20回）小林会計委員長（高23回）荒木参与（高23回）太田100周年記念事業委員長（高26回）衣袋レディース委員長（高27回）森本総会指導委員長（高28回）佐藤事務局次長（高30回）濱田第54回実行委員長（高43回）草野実行委員（高43回）深澤委員（高44回）高橋委員（高44回）松沢委員（高44回）二木6年委員会副委員長（高45回）百瀬総務委員長（高27回）計19名

開会：佐藤会長（高10回）

皆様今日のご苦勞様です、ご参加ありがとうございます。

今日の議題を見ていますと、来年の同窓会への第一歩が始まっていると感じます。この同窓会・懇親会がスムーズに実施できることが同窓会を長く継続していくことに一番大事なことだと思いますので宜しくお願い致します。

過日、松本の同窓会から連絡があり、2年後の100周年記念事業の実行委員会が立ち上がったということで、東京と関西の同窓会の代表者に案内が届きました。

私は緊急事態宣言の最中でもあり、夜の開催だったので、安曇野に在住の巢山さんに代わって出て頂いた。資料を見ると大変な事業が歩き出したという気がします。このところ母校では、演劇等で活躍している学校になってきたので、我々同窓会もそれに勝るとも劣らず、同窓会あつての母校という位の気持ちで応援していきたいと思えます。

これから宜しくお願い致します。

三澤幹事長挨拶（高18回）

お世話になります。今日のご苦勞様です。

6月の濱田実行委員長の市道で実施した総会・懇親会ですが、こういうことは初めてでしたが、来年のことを考えるに当たって、何が最大で出来るのか、共通には出来ないという言葉もありますが、その中でも何が出来るのかという前向きな姿勢の中で今日も議論して頂き、ご協力のほど宜しくお願い致します。

議題

第54回総会懇親会報告（総括）

濱田実行委員長（高43回）

（資料：第54回総会懇親会報告（総括）に基づき報告）

オンラインで実施するのは初めてだったが、困った時にOBの皆さんに助けて頂けたのが大きかった。同窓会の良さだと思った。

（青柳委員）

どこまでがオンラインで、どこまでがアナログかがハッキリしなかった感じがする。Zoomで参加と言いながらYouTube参加なら関係ない。HP・オンライン・紙とメリハリを付けて

合致していなければならないと思う。

(森本総会指導委員長)

参加意識をどのくらい持って頂いたかという点ではご指摘の通りだと思うが検証が難しい。

Zoomで100人位参加してもらうことも考えたがノウハウがなく実現出来なかった。

参加感をどう達成していくかは、オンライン開催での課題と考える。

全体総括としては、シナリオを12回ほど書き換えた。その労力は大変だった。限られた時間の中で、そのプロセスは大事にしていきたい。

(三澤幹事長)

イレギュラーな中での開催となり、この方式が良かったのかどうかは私も分からない。コロナの蔓延につながるかという意見も有ったし、松本テレビでも、本会とは別に陽性者が出たりした。コロナ対策は万全な対策を取った。

若い人たち、女性応援団の団長や卒業直後の去年の生徒会長を呼んだとか、過去の映像も濱田実行委員長のお陰で映すことができた。

YouTubeについては、記録には残るが参加の感動をどう伝えるかが課題だったが、形だけは実行できたと思う。1500人位には見て頂いて、東京同窓会の懇親会がどんなものであったかは見て頂くことができたと考えている。松本テレビの須崎さんには大変お世話になり感謝している。予算の経費50万円については、私と須崎さんの間で決めたが、松本テレビでは10万円以上の足は出ていると聞いた。

来年は、来年として何が出来るかを皆さんで検討して頂きたい。

本当にご苦勞様でした。

(二木委員)

参加感について、オンラインチャットを使うという方法がある。北海道のテレビ局がオンライン中継をやっていたが、発信側と視聴者側がコミュニケーションを取ることによって盛り上げる手法があるので、もし、来年もオンラインでやるので有れば一つの手法として検討材料にしたら良いと思う。

(草野委員)

時間を超えることが同窓会の魅力。何十年ぶりに会うと、自分が高校生の時に戻った気がする。これをオンラインで実施する時に、現役の高校生の風景を流す(カメラで撮りに行くのではなく、こちらでこっそり見せてもらう)感覚で臨場感をもたせることが出来るかもしれない。映像コンテンツで見せることができるかも。

オンラインチャットの他にも、テーブル毎に集まる感覚を持ってもらうために、Zoomで小さい小部屋を持つということも機能としては出来るので、併せて検討してみたらどうか。

全会一致で報告を承認した。

第54回総会決算報告案について

森本総会指導委員長(高28回)

(資料:第54回決算書(案)に基づき報告)

9月末までは寄付や協賛金を受け付けているので完全に収支を決め切れていない。

10月に入ったら会計監査に回して決算を確定したい。

小林会計委員長には大変お世話になり感謝している。

全会一致で仮決算報告を承認した。会計監査が終わった時点で、改めて最終決算報告を実施する。

第55回総会実行委員会準備について

深澤実行委員（高44回）

先日、松沢さん、高橋さん、袖山さんと4人で一度、打合せを実施している。

テーマについては「新たな転換に向けての変換点」「ニューノーマルな社会への展開」

「With コロナからのリスタート」と言ったニュアンスで考えているが決定に至っていない。案を出し合っている段階。

懇親会というからには、親睦を深める形にしたい。今回はZoomによるリモートと言う形になったが、懇親を深めるのが難しいので、親睦を深める為には、ある程度の人数が集まることを前提にして準備を進めたいと考えている。

3時間を超えるリモートの会議は体力的にも疲れるので、タイムスケジュールは再検討の必要が有ると考えている。

アルカディアに集まることを前提に開催していくことを考えて行きたい。

（三澤幹事長）

実行委員長は決まったのか → まだ4人しかいないので決まっていない。もう少し声を掛けて参加人数を集め、その中で実行委員長を決めたい。

（佐藤事務局次長）

事務局の手元にある名簿と本部の会員録に抛ると、高44回の東京近郊に住んでの方が23名いる。それを後で、深澤さん方にお送りするので、活用して声掛けを実施して頂けると有難い。→ 知り合いに声掛けはしているが家庭の事情で参加できない人がいる。リストは是非とも活用したい。

実行委員会は、次の合同幹事会までに詳細検討を進める。

他の同窓会のメンバーの皆さんのご支援も宜しく願うこととした。

代表幹事会報告

三澤幹事長（高18回）

（資料: 令和3年度第1回代表幹事会議事録に基づき報告）

（草野委員）

（東京同窓会のHPの運営管理について）10年ほど前に同窓会のサイトの運営をしていたことがある。最近は少し間が空いたが、協力者の一人として参加させて頂きたい。最近、松本に移住したが協力できる。

→ 有難い申し出で感謝する。是非ともお願いしたい。

（三澤幹事長）

草野さんにお伺いしたいのですが、広報委員会の中にHPの幹事が有り、佐原さんをお願いしている。皆が佐原さんに原稿をお願いして、佐原さんがそれを纏めたりアレンジしたりしてHPに掲載している。草野さんはそういうことが出来るということですか。

（草野委員）

Webの分野ではエンジニアと運営と2種類の人がいる。私はエンジニア寄りです。コンテンツを作る側ではない。素人的にできるかもしれないが本職ではない。佐原さんは本職なのですが、そこまでの事は出来ない。ITエンジニア、サーバー周り、お金関係の裏の仕組み作り等裏方の仕事です。

（二木委員）

私はソニーでIT系統業務をしてきたが、最近、HPのWEBマスターをやっていた。私も裏方に近い仕事です。物書きや写真のデザイン担当は別にいました。話に出た丸山さんもエンジニア、街の電気屋さんのような感じ、高度ではないが物書きも出来る感じ。極端な専門性

は無いが幅広く携わっているのが丸山さんのビジネススタイルではないか。

縣陵東京同窓会のHPの件 二木6年委員会副委員長（高45回）

（縣陵東京ネットホームページ 状況報告に基づき報告）

（青柳委員）松本県ヶ丘高校東京同窓会.netに、母校の名前も「縣」を使ったり「県」を使ったりしているが「縣」に統一した方が良い。

（佐原HPサイト委員長）皆さんの同意が得られれば表示の仕方はどちらでも構わない。6月のサーバ移転と同じ時期に縣陵東京ネットが検索に出てこなくなったことの主たる原因は、ウェブページ制作アプリケーションのアップデート時の設定のミスによるもので、ネットの技術面に詳しい二木さん（45回卒）が原因を究明し、佐原が指示に従い修正して無事復帰できた。他の幾つかの点も修正し、目下問題なく稼働している。（詳細は二木さんのレポート参照）

この一連の作業を通じて、Google search console登録など、新しいサイト構築に必須と言われる機能のいくつかを現行ウェブサイトを設定していただいた。検索の問題は解決し、サーバ容量は増量し、ソフトの習熟も進みアップ作業が支障なくできるようになった。検索のキーワードに縣陵・県ヶ丘など沢山の言葉を入れたので検索しやすくなった。運用として「縣」「県」の土田らが良いのかは、HPの問題とは別に決めて貰えば良い。

（三澤幹事長）佐原さんには20年来大変お世話になり感謝している。後任を探すのにあたり、アドバイスを頂きたい。

（佐原HPサイト委員長）

サーバ移転にともなう混乱が一区切りついたので、改めて今後の縣陵東京ネットをどうするか、制作、維持管理を誰に委ねるかの検討に移る環境となった。今回の混乱の中で、二木さんと言う救世主が現れて立ちどころに解決した。二木さんと草野さんに携わって頂ければこんなに有難いことはない。

今日の会議に丸山さんは参加していないが、私の中では候補の一人に過ぎないので、こういう討論には参加させずオフレコでお願いしたい。理由は余り協力的ではなかった。一連の混乱の中で助言を求めた丸山氏（サーバホスティングとウェブサイト作りを行うサポーターズ安曇野を運営）は我々がより良いものを目指している、助けてくれるという感じがしなかった。「作り直すのが最善」の一点張りで、検索の不調などについて現時点での状況を改善するアドバイス（二木さんが気付いて実施した事）はなかった。

サーバ移転にともない実施するはずだった対策（リダイレクト）が移転から3ヶ月たった今も不実行であることについての質問（二木さんから）への回答もないままで、お互い尊敬しあい、信頼関係を作り上げてやってゆけるか不安である。見積もりでは一括契約となる各種サービスには同窓会サイトには不要と思われるものも含まれており、柔軟性がない。これまでの20年間のコンテンツの蓄積について基本的には不要（ブログの記事のようなもの、と表現）としている点も気になる。過去のコンテンツの選別と整理は必要だが、縣陵東京同窓会の活動の記録を蔑ろにされるのは不本意である。丸山さんの良いようにやられる感じがする。やりたいようにやらしてくれと言う感じがする。

サポーターズ安曇野はサーバホスティング業者+ドメイン管理者としてのお付き合いをお願いし、サイト全体の構築、更新などは委託先をリストアップしてさらに慎重に選ぶか、自力で継続するための人材の発掘、維持してゆく方法を模索するべきと考える。二木さん、草野さんといったエンジニアリング面のエキスパートの力強い支援があれば、自力で問題を解決しながら運営できるようになる。コンテンツ制作サイドについては、今期実行委員長だった濱田さんほか、情報発信への興味と意欲のある方々に結集してもらうこと、レディースなど活動セクションごとにコンテンツ制作更新の権限をわけると新しい運営手法を取り入れることで乗り切れると思う。word press導入、スマホ対策なども含め、新しい世代のノウハウと考え方でやってもらえば良い。引継ぎ可能となるまでの期間は佐原もこれまで通り始業を行う。その間に適任者を探してもらいたい。

過去のコンテンツはアーカイブ化して必要に応じて参照できる状態（技術的には可能）にし、若い世代には過去の手法やビジュアルに囚われる事なく、まったく新しいウェブサイトをゼロから自由に作って欲しい。独自のスタンスでやってもらいたい。

（荒木委員）

3月まではやって貰えるが、それ以降は出来ないということか。アートに詳しい人が居ない。縣陵にもアートに詳しい人が居るはずだ。

（佐原）

全く出来ないわけではないが、私も70歳になる。

（三澤）

今まで、佐原さんに頼り切りだった。エンジニア系は二木さんと草野さんがいるのでお願いして、コンテンツ系では濱田さんをお願いしたいと思うがどうでしょうか。

（濱田委員）

ありがとうございます。私は素人だが書き物は好きなのでお手伝いは出来る。全体的な運営の所でお手伝いできないかとは考えていた。中身が大事なので、HPを使って同窓生をどう巻き込んでいくかが大事だと思うので、みんなで知恵を出し合って取り組んでいきたい。

（青柳委員）

アルペン会の中止の連絡もHPの調子が悪くて電話連絡に切り換えた。スピード感が大事なのでスピード感の有る方にやって貰いたい。

（佐原）

ネットの良さはスピード感。濱田さんは時間をフレキシブルに使えるそうなので、是非お願いしたい。出来るだけのバックアップやお手伝いをしていきたい。レディースでもWeb関係に時間を取れる人や各委員会でもメールで私の方に連絡してもらえばスムーズにHPに掲載できるようにしたい。橋渡しまではしていく。

（二木）

凝ったものではなく、報告くらいであれば、Webページを編集する権限を担当に渡しておけば、担当が直接掲載することができる。逆に総会・懇親会とか練り込まれたコンテンツや記事についてはライターに任せるといったやり方も出来る。佐原さんがいま一人でやっていることを分割することが出来る。

(草野)

複数の人がやると壊れると思う人がいるかもしれないが、技術の問題で解決できるので、権限を委譲することが大事だと思います。

(濱田)

今年の東京同窓会・懇親会に参加してくれた矢口さん(高68回)や大学生の木村さん(高73回)がこのようなことに明るくセンスも良く発信してくれる。木村さんも私に出来ることで有れば手伝いたいと言ってくれた。時間も有るし、バイトにもなる。月1万円でどんどんアップして貰える。若手を巻き込んだらどうか。費用的にも上手く出来ると思う。

(森本総会指導委員長)

大学の同窓会がHPを作り変えて、会費も払えるようにした。コンテンツに関しても、1件1万円で専属のレポーターを用意した。HPの充実化を考えている。

(佐原)

・若い人に任せるのは大賛成。同窓会は昔から引きずっているものと区切りをつけて新しくしないといけない物とがある。WEBサイトもそういう時代が来る。その前提で、全く新しいものを作ることにはしないと若い人が付いてこれない。過去を押し付けず、割り切って若い人に任せたい。それまではお手伝いする。

(二木)

佐原さんがやりたいと言っていることは、丸山さんは出来ないと言っていたがテクニカル的には出来る。しがらみなく進められると良いと思います。

次の合同幹事会までに関係者で集まって詳細を詰めていく事とする。

縣陵100周年記念事業について

巢山名誉顧問(高11回)

佐藤会長の代理で実行委員会設立総会(9/17)に出席してきました。

縣陵は来年から「進学型単位制高校」となります。3年生の後期10月から進学に向けて自由な受講に併せた講義が開かれるとのこと。このメリットは、文部省から国費で教員等の増員が出来るということです。

今回、設立総会が行われたのは、学校とPTAと同窓会の3者が一体となって実行委員会を立ち上げて100周年記念事業を行う。

現在の卒業生は29,790人。令和5年の100周年の時には30,000人を超える。この時に、須坂・篠ノ井・屋代・豊科も100周年を迎える。

今回の設立総会の理念や趣意書は別の機会に説明する。組織として6委員会(総務・記念誌・募金・記念事業・会館建設・教育環境整備)を作った。

大きな事業計画は次の通り。

学校教育環境整備事業:Wi-Fi、LLキョウシツ、空調設備の設置差促進などに2,000万円。

同総会の充実事業:会館の新設などに6,000万円

地域への謝恩:一虹展・100周年記念写真展の開催に900万円

記念誌・写真集・人物誌の発刊に1500万円

記念式典(令和5年9月30日,1500人予定)、祝賀会(体育館,500人)の開催に550万円

寄付・募金:寄付収入:12月までに決めて同窓生に配布して募金活動を開始予定。寄付金で8,600万円(各年次に150-250万円割り振り)、グッズ販売で1000万円

同窓会で積み立ててる500万円を合わせて、総額予算は1億1000万円が総会で議決された。実行委員長は本部同窓会長、副実行委員長は東京同窓会長・関西同窓会長・長野同窓会長・学校長・PTA会長の5人。具体的にはこれから各委員会で決めていく。各学年からも実行委員が出ていて検討を進めて行く。

大きな事業だが、コロナ禍も有りこのまま進むかは分からない。特に募金が予定通り集まらなければ事業の縮小もあり得る。あと2年に迫ったので実施に向けて邁進していきたい。

広報委員会からの付議事項

三頁幹事長（高18回）

（資料: 広報委員会付議事項に基づき報告）

付議事項：令和3年度「縣陵コネクション」掲載料を免除したい。

対象6社×12,000 = 72,000円

各社から免除の要請は有ったのか → それはない。

近所の歯医者、何時行っても2週間以上先迄予約が取れないほど混雑している。

HPのサーバー移管の関係で掲載している写真が6-9月に見られなかった期間がある。

その間の値引きではダメなのか。→継続掲載できていないので免除すべきでは。

総会・懇親会でも寄付を頂いている。

2～4番の会社はコロナ禍で苦勞している。

質疑後、賛成多数で可決した。

その他報告・連絡

アルペン会

青柳相談役（高20回）

第85回を10月14日（木）に開催予定 28名が参加予定

最年長は87歳（高5回）の方が参加予定

新しい会員の紹介を是非お願いしたい。

三澤幹事長より

今日はHPに関する議論も出来て実りの多い合同会だった。

来年は役員改選の年になる。各学年において幹事の選出準備をお願いしたい。濱田さん、草野さんから同窓会へのご支援の申し出を頂いたが、私も73歳になる。次期役員は60歳代が中心になるようにしたい。皆さんのご協力を宜しくお願いしたい。

各委員会にて、月一回の会議を是非お願いしたい。同窓会でZoomに加入しているので是非その活用もお願いしたい。

審議を15時30分に終了した

次回の合同幹事会は12月か1月を予定。改めて連絡する。

以上

